

建廃協NEWS111号

★50周年式典を開催しました★

2025年10月7日、如水会館 スターホールにて組合創立50周年式典を執り行いました。記念講演には約240名、式典には約270名の参加をいただきました。この場をお借りしまして、皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

記念講演第一部は、元南極地域観測隊の調理隊員・渡貫淳子氏が、南極での暮らしを通して得た「食材と環境を大切にする知恵」を、映像や動画を交え楽しく紹介いただきました。限られた資源での食材の使い切り方や出汁・残り物の再利用、冷蔵庫の上手な管理など、日常でできる食品ロス削減のヒントを具体的に示し、食べ物を粗末にしない生き方や知恵を学べる講演でした。



記念講演第二部は、脱炭素が求められる中、北海道大の北垣亮馬先生が、廃コンクリートを活用して大気中のCO₂を固定し、資源循環とカーボンニュートラルを両立させる研究を紹介いただきました。破碎で表面積を増やし、乾湿の繰り返しや水滴を与える「ドリップ法」で炭酸化を促進することや、短期間でCaCO₃を生成しCO₂を吸収する仕組みや、現場で簡単にCO₂固定量を測定できる評価装置の開発について、わかりやすく解説されました。



建廃協設立50周年記念式典には260名以上のゲストが集まり、渡貫淳子氏と北垣北大教授の講演後、祝賀会が盛大に開かれました。

粕谷理事長のあいさつに続き、国交省甲斐室長、環境省大川参事官からの祝辞があり、三本元理事長の乾杯で祝賀会は始まりました。日建連副産物部会高崎部会長からもご祝辞をいただき、祝賀会は最高潮に。東京都中小企業団体中央会より祝電をいただき、司会により読み上げられました。加瀬副理事長の3本締めで中締めとなりました。



粕谷理事長



甲斐室長



大川参事官



三本元理事長



高崎部会長



加瀬副理事長

50年の歴史を振り返り、会員一人ひとりが親睦を深め、懇親のひとときを楽しみました。

建設廃棄物協同組合は感謝とともに100年に向けての一步を踏み出しました。



ありがとうございました

